



全グレード対応

児童英検 レッスン



成美堂出版

保護者の皆さまへ 4

この本の構成と使い方 5

1 自然 6

2 家 8

3 町 10

4 数字 12

5 あいさつをしよう 14

●れんしゅう1
 絵にあう文は? 18

6 食べもの・飲みもの (1) 20

7 教室 22

8 色・形 23

●れんしゅう2
 Yesか? Noか? 24

9 様子 26

10 動き 28

●れんしゅう3
 3ヒントクイズ 30

11 スポーツ・楽器 32

●れんしゅう4
 文にあう絵は? 34

●れんしゅう5
 お話にあう絵は? 36

12 家族や人 39

●れんしゅう6
 みんなにきいてみよう 40

13 身につけるもの 42

●れんしゅう7
 どうすればいいかな? 44

14 季節・月・曜日 46

●れんしゅう8
 チャレンジコーナー 48

15 生きもの (1) 49

16 アルファベット 50

●れんしゅう9
 絵にあう文は? 52

17 おしごと 54

●れんしゅう10
 返事をしよう 56

18 道具 58

●れんしゅう11
 種類別ものえらび 59

19 体や気持ち 60

●れんしゅう12
 3ヒントクイズ 62

20 食べもの・飲みもの (2) 64

21 天気 65

●れんしゅう13
 はじめほどの文字? 66

22 時や位置	68	29 きいてみよう 数や年など	96
●れんしゅう14		●れんしゅう22	
どっちの絵? クイズ	70	お話をきこう	98
23 乗りもの	72	30 きいてみよう 相手の気持ちや様子	100
●れんしゅう15		●れんしゅう23	
お話にあう絵は?	73	文字にあう絵は?	102
24 生きもの(2)	76	●れんしゅう24	
●れんしゅう16		絵を見て答えよう	104
2人にきいてみよう	78	●れんしゅう25	
●れんしゅう17		どんなお話?	106
文字をえらぼう	80	●れんしゅう26	
25 時間	82	質問してみよう	108
●れんしゅう18		●れんしゅう27	
チャレンジコーナー	83	4コマまんが	110
26 きいてみよう 人やもの	84	●れんしゅう28	
●れんしゅう19		チャレンジコーナー	112
絵にあう文は?	86	解答と英単語・英文の訳	113
27 きいてみよう 時や場所	88	児童英検ガイド	142
●れんしゅう20			
ちがうものはどれ?	90		
28 きいてみよう 方法や理由	92		
●れんしゅう21			
返事をしよう	94		

保護者の皆さまへ

1994年に開始された公益財団法人日本英語検定協会「児童英検」は、児童の英語能力の調査・研究を目的として、英語に親しみ、外国の文化を理解することを目標として開発された「ゲーム感覚」のリスニングテストです。出題形式は、英語を聞いてその内容にあった答えをイラストや音声による選択肢の中から選ぶものが中心です。また、「児童英検」は児童の達成感を学習の動機付けにする育成型テストなので、合否の判定はなく、代わりに次のステップに進む指標として正解数と正答率が示されます。

「児童英検」が目指す「英語を学習する児童」の理想的な姿は次のようなものです。

- 英語への親しみや興味・関心を持つ
- 積極的に英語でコミュニケーションをすることを楽しむ
- 英語がコミュニケーションの一つの道具になることを認識し、英語を使うことによって世界の人々と交流ができる喜びや楽しさを知る
- 世界のさまざまな生活や文化への理解や知識、関心を集め、広い視野を持った国際人を目指す

一方、2008年3月に公示された「新小学校学習指導要領」に基づいて、平成23年度から全国の公立小学校の5、6年生で外国語学習活動が始まっています。この指導要領が目指すところも「児童英検」のそれとほぼ同様で、「外国語（原則として英語を使用することが規定されている）を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う」というものです。教育の場でのこうした動きの背景にあるのは、国際共通語としての英語によるコミュニケーション能力を身につけることが不可欠であるという認識の強まりにほかならず、その能力を着実に身につけるには、言語習得能力の高い小学校低学年くらいまでの時期から英語に接することが大きな効果を生むことは言うまでもありません。

一方で、そのような頃の柔軟な幼少期に文法重視の学習を強いることは、子どもの英語への興味をそいでしまうリスクも出てきます。新しいことに強い関心を持ち、また、間違いを恐れないこの時期には、生の英語を聞いたり自分で声に出して言ったりという、言語習得の基本的な行為を楽しみながら自発的に行うことが一番です。

本書は、子どもたちが基本的な単語や会話表現を楽しく学びながら英語に親しんでいけるように工夫しつつ、実際の「児童英検」に即した練習問題を数多く用意し、効率的に学習できるように編集しました。豊富なイラストを見ながらたくさんの英語をくり返し聞き、練習問題をこなして基礎的な英語力を身につけ、ブロンズ、シルバー、ゴールドという「児童英検」の3段階を登っていただきます。本書を通じてお子様が英語に興味を持ち、楽しみながら学習効果をあげられますことをお祈りしております。

この本の構成と使い方

◆本書の構成

児童英検は音声のみの試験で、身近なものの英単語や、日常的に使われる簡単な会話のやりとりなどが出題されます。そこで本書は、以下のように、カテゴリー分けされた英単語や表現を段階的に学ぶ（1～30）、その合間に本番の試験と同様の形式で作られた問題を練習する（れんしゅう1～28）という2本立ての構成にしています。

付録のCDには、各ページの単語や会話、「れんしゅう」で読まれる英文のすべてが、実際の英語話者であるネイティブスピーカーによって録音されています。

① 1～30：基本的な英単語や表現

英語に限らず、言葉を理解するには、ものの名前を数多く知っていることより容易になります。1～30では、児童英検の試験を受験するにあたり必要となる英単語や表現などの基礎力をつけることを目標とし、構成を2つに分けて学んでいきます。

●1～25 身近なものや食べもの、動物、曜日や体の部位の名称など、子どもたちになじみの深い単語を中心に紹介し、それらの単語を実際に使った英文を「きほんの文」として掲載しました。

●26～30 自分の知りたいことを相手にたずねるときの表現を、「人やもの」、「時や場所」、「方法や理由」、「数や年など」、「相手の気持ちや様子」の5種類に分類し、会話形式にして紹介しています。何度もCDを聞きながら、声に出して練習し、場面に応じた英会話になれましょう。

② れんしゅう1～28：「児童英検」試験のトレーニング

ここでは、実際の児童英検の試験と同じ形式の問題を練習することができます。れんしゅう1～8まではブロンズ、9～18まではシルバー、19～28まではゴールドと同じ問題形式で構成してありますので、難易度も徐々に上がっています。各グレードを意識しながら、段階を踏んで練習してみましょう。まちがえても気にせずに、CDで何度も問題を聞いてみるのが大切です。

◆解答と英単語・英文の訳について

巻末には、すべてのページで読まれる英単語と会話文の意味、「れんしゅう」で読まれる英文と意味、そして「れんしゅう」の解答を載せてあります。「れんしゅう1～28」の訳については、解答となる選択肢以外の選択肢も含めてすべてを記載しました。お子様の指導にあたられる親御さんや先生は、巻末のスク립ト、日本語訳をご利用ください。